

# 最先端デバイスへつなぐ 有機作製技術と構造制御

Fabrication Techniques and Structural Control of  
Organic Materials for Next-Generation Devices

デバイスへの応用を目指した有機作製技術は、近年、飛躍的に発展しています。さまざまな工夫を凝らした新しい作製技術は、最先端の革新的なデバイスの実現に不可欠な要素です。本シンポジウムでは、多彩な作製技術に焦点を当て、その原理やメカニズム、技術的工夫などに加えて、それらの技術を駆使した構造制御やデバイス応用までを俯瞰し、最新動向と今後の展望について議論します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2025 **9/9** (火) 13:30 – 17:30 (予定)  
名城大学 天白キャンパス / Zoomハイブリッド

招待講演 (敬称略・五十音順)

**石田 謙司 (九州大)**

有極性分子膜の構造配向制御と電子機能

**尾崎 雅則 (大阪大)**

中間会合状態を経た $n$ 共役系高分子の高度配向

**小野島 紀夫 (山梨大)**

静電スプレーを用いた有機デバイス開発

**竹谷 純一 (東京大)**

有機半導体結晶薄膜と有機CMOS集積回路

**帯刀 陽子 (東京農工大)**

有機導体を用いた低次元分子集合体の作製と物性評価

**時任 静士 (山形大)**

印刷法による複合薄膜の構造制御と実践的なフレキシブルセンサへの応用

※講演題目は仮題につき変更の可能性があります

一般講演  
募集中!

企画

応用物理学会  
有機分子・バイオエレクトロニクス分科会

世話人

丸山 伸伍 (東北大)  
廣芝 伸哉 (大阪工業大)  
横倉 聖也 (北海道大)